

女子もすなる『艦これ』といふもの

西田隆政

(甲南女子大学文学部)

1 はじめに

DMM 提供の『艦隊これくしょん』(以下『艦これ』)¹というブラウザゲームがある。第2次世界大戦中に登場した旧日本海軍等の軍艦を女性キャラクターに擬人化し、プレイヤーは「提督」となって、艦隊司令部となる「鎮守府」に着任し、そのキャラクター「艦娘(かんむす)」²を指揮して、「深海棲艦」という人類の脅威となる海からの侵略者と戦わせるというものである。

軍艦を女性キャラクターに擬人化すること、また、戦闘で損傷を受けた際には衣服が破れるというエロチックな要素があること、CV(キャラクターヴォイス)に女性声優を配していること等から、基本的に男性ファンを対象としたものであることが理解される。しかし、このゲームには、2013年春のサービス開始以来、熱心な女性ファンの存在することが知られている³。

実際、稿者の所属する女子大学の学生にも、かなりの数のファンが存在し、稿者と提督談義を楽しむ者もいる。さらには、プラモデルまで製作する者もいる。本稿では、そのような女性ファンが、『艦これ』というゲームのどこに魅力を感じているのか、また、どのように楽しんでいるのか、女子提督たちから、インタビュー形式で意見を聞くことによって、探っていくことにする。

2 「女子提督」自己紹介

ここからは、ニックネームでのインタビューを採録することで、進行していく。なお、参加者は全員甲南女子大学文学部日本語日本文化学科の2年生である。インタビューは、2015年12月10日(木曜日)、14時40分から16時10分まで、西田の研究室で行った。

司会西田(以下司):では、まず、皆さんのニックネームと「提督」レベル⁴、それと現在進んでいる海域⁵について紹介をお願いします。

からあげ(以下K):からあげです。LV83で、4-2海域です。

シオン(以下S):シオンです。まだ初心者でLV2です。1-2海域です。

みつを(以下M):みつをです。LV98で、6-3海域です。

レトルト(以下R):レトルトです。LV60で、4-2海域です。

上記の話からすると、みつをさんは上級者の一歩手前で、からあげさんとレトルトさんが中級者、シオンさんは初心者ということになる。ただ、『艦これ』は、初心者から上級者まで、それぞれに楽しみがあり、この中では、特にレトルトさんが楽しんでプレイしている印象がある。また、シオンさんは、この後、稿者か

¹ DMM.com 提供。詳細は DMM の「艦隊これくしょん-艦これ-」サイト参照。IE 等のネットブラウザを使用して楽しむ PC ゲーム。2013 年 4 月 23 日サービス開始。現在参加者(提督)数は 300 万人以上。

² 「艦これ」のゲーム世界では、軍艦が擬人化した女性を「艦娘」と称している。

³ コンプティーク編(2014)「女性提督たちの「艦これ」という特集記事がある。また、三谷編(2015)の女子提督たちの製作した「艦これ」マンガのアンソロジーコミックがある。

⁴ 「提督」はゲームのプレイの進展により経験値が上昇し、現在の最高値は LV120 である。

⁵ 「深海棲艦」と対戦するマップのこと、現在、第6面の第3海域まで解放されている。各面は4~5の海域で構成。

ら攻略本⁶を借りて、急速にレベルアップしたようである。

3 『艦これ』をはじめたきっかけ

つづいて、このゲームを始めたきっかけを話してもらった。

司：それでは、皆さんのゲームを始めたきっかけがどのようなものであったか、教えてください。

K：『刀剣乱舞』(以下『とうらぶ』)⁷をプレイしていました。似たゲームがあると聞いて、始めました。今も、二つのゲームを楽しんでいます。しかし、『とうらぶ』に比べると、『艦これ』は難しいと感じます。任務や戦闘や建造のための資源のシステムが複雑で、慣れるまでが大変でした。2015年の春ごろから始めたと思います。

司：確かに、同じDMM提供でも『とうらぶ』の方が後発なので、かなり、プレイしやすくなっていますね。

それでも、『艦これ』を今も続けているのは、『とうらぶ』とは、また違った魅力があるということですね。

S：友人から話を聞いて始めました。この秋で2015年の9月ですから、登録しただけで、ほとんどプレイしていません。とにかく、「艦娘(かんむす)」がかわいいということですね。

司：『とうらぶ』は、刀剣の擬人化キャラクターが活躍するゲームですが、かっこいい男性キャラキャラクターですから、その点で、『艦これ』とは全く違いますね。やはり、この「艦娘」がかわいいがキーワードになりそうです。

M：『コンプティーク』⁸に、たびたび取り上げられていて、興味を持ちました。2015年の春休みから始めました。ゲームの得意な兄がいるのですが、兄は『艦これ』はしません。いろいろとアドバイスをくれることはあります。かわいいと言えば、人気の「艦娘」の一人、駆逐艦「島風」⁹がかわいいですね。

R：私は、みつをさんから聞いて始めました。(記録を確認しながら)2015年6月11日です。2015年1月からのアニメ¹⁰の影響もあります。まず、アニメを見てからゲームという流れです。

司：きっかけとしては、周囲の人から得た情報が大きいようですね。それで興味を持ってから、実際に「艦娘」をかわいいと感じ、さらには、ゲームのシステムにも入っていけるということでしょうか。

ここに登場してもらった4名は、まだゲームを始めてから1年未満の提督ばかりで、まさにゲームのシステムに馴れながら、楽しんでいるという段階と思われる。『艦これ』には、すでに2013年4月から2年以上プレイしている提督もおり、2015年の時点では、インターネット上だけでなく、書籍や雑誌、さらには口コミでの情報も広く流布している。それゆえ、2015年にゲームを始めた者にとっては、情報入手にストレスを感じることは少なく、ゲームに自然に入り込んでいけるのであろう。

女性の場合、ゲームを始めるきっかけは、周囲の者からの口コミが大きいと思われる。そして、実際にプレイしているPC画面を見て、おもしろそうだと感じて、それでは、自分もやってみようとなるのであろう。そして、実際自分がプレイして「艦娘」たちをかわいいと思う、そこがゲームに入り込んでいく重要な要素となっている。

⁶ 人気ゲームである「艦これ」には多数の攻略本が出ている。代表的なものを参考文献欄に挙げている。

⁷ DMM.com提供。詳細は「刀剣乱舞—ONLINE」のサイト参照。登場キャラクターやゲームシステムについては、トウラブ研究会編(2015)参照。

⁸ 株式会社KADOKAWA発行の月刊誌。人気のゲームの特集等が売りである。年に数回「艦これ」の特集号もある。

⁹ サービス開始時からの人気の「艦娘」。なお、駆逐艦は艦自体小さいものの、動きの良さと雷撃戦が得意技。他には、戦艦、航空母艦、重巡洋艦、航空巡洋艦、軽巡洋艦、練習巡洋艦、水上機母艦、潜水艦等の艦種がある。

¹⁰ TVアニメーションの『艦隊これくしょん—艦これ—』(監督草川敬造、製作ディオメディア、2015年1月～3月放送)。詳細はアニメの公式サイト参照。

4 『艦これ』のおもしろさと魅力

この章では、さらに踏み込んで、「女子提督」の感じている、『艦これ』というゲームのおもしろさと魅力に迫っていくことにする。

司：皆さんの感じている、『艦これ』のおもしろさと魅力について、語ってください。

K：Sさんが先に言ったように、「艦娘」のかわいいのが一番です。育てていくと「改」から「改二」¹¹とグラフィックスも変化して、育て甲斐があります。

司：なるほど、「艦娘」が段階的に成長していくことで、それが実感できるんですね。しかも、その段階が上がるにつれて、戦闘力も強くなっていきますから、一石二鳥というわけでしょう。

S：私はまだ初心者で、人のプレイするのを見る方が多いのですが、やはり「艦娘」はかわいいですね。本当に愛でまわしたい、わしゃわしゃしたい（笑）という感じです。

M：かわいいのもありますが、私はシビアな感じなのも惹かれます。「艦娘」を自分の不注意で「轟沈」¹²させると二度と復活させられないところです。もちろん、もう一度、同じ「艦娘」を入手することは可能ですが、それは前に育てた「子」とは別の「子」ですから。

司：「轟沈」は『艦これ』のゲーム上最も大きな特徴ですね。「ヒラコーショック」¹³等も有名ですが、自分のミスで「艦娘」を沈めてしまうとしばらく立ち直れないとは、多くの提督の話にあるところです。

R：私もかわいいのに惹かれます。それ以外だと、「艦娘」の建造があります。建造して、それまでに入手できていない「艦娘」ができると「やった！」となります。また、海域の戦闘で勝利したときの「ドロップ」も「どの子が来るだろう」とワクワクします¹⁴。特に、イベントでは、それが一番の楽しみです。この前のイベントで軽巡洋艦の「大淀」さんが出たときには、ガッツポーズでした。

M：マスコミでも取り上げられたことがあります。『艦これ』のブームは、社会現象にもなっていますね¹⁵。それと、他のゲームと比較すると、運営が有能というのもあると思います。ファンに飽きさせないように、うまく情報を出して、システムも改良していっていますね。

司：Mさんは、さすがにゲーム関係は詳しいですね。それと、「艦娘」がかわいいのが一番というのが、「女子提督」皆さんの共通認識ということですね。それと、ゲームシステムにも魅力があるということになります。元々が『艦これ』は艦隊のコレクションの意味ですから、「艦娘」をどのように集めてどのように育てていくのか、というのがゲームの柱となりますから、「女子提督」の皆さんは、まさに基本に忠実に楽しんでいるということになります。女性が「艦これ」をプレイしているということ、意外な感じを持つ人がいるかもしれませんが、何をかいわんやで、ゲームの根本である「艦娘」を集めて育てるということに、魅力を感じているわけなのですから、もともと女性へも訴求する可能性のあるゲームであったのだと、改めて認識させられました。

¹¹ 「艦娘」は戦闘等で経験値を積んでレベルアップしていく。一定のレベルに達すると「改造」され、「改」となって戦闘力が増す。さらに、一部の「艦娘」にはさらに上のレベルで「改造」可能となり、「改二」、さらに三回目の「改造」のあるものもある。「改造」の際には、グラフィックスが刷新され、新しい装備も手に入るので、提督たちは「艦娘」の「改装」できるのを心待ちにしている。以下、ゲームの詳細は、参考文献や参考サイトに挙げた、攻略本や Wikipedia も参照。

¹² 「艦娘」を「大破」という大きな「損傷」を受けた状態で次の海域に進撃させて、さらにそこで「損傷」を受けると「轟沈」してしまい、その「艦娘」をもう一度復活させることはできない。このゲームで最もシビアなシステムである。

¹³ 漫画家平野耕太氏が 2013 年 5 月 13 日に主力の航空母艦「加賀」を「轟沈」させてしまった事件。詳細は、「ニコニコ大百科」の記事を参照。

¹⁴ 「艦娘」の入手方法には、「資源」を用いて建造するのと、「海域」で勝利してその報酬として「ドロップ」するのがある。未入手の「艦娘」が「建造」できたり、「ドロップ」したりすると、うれしいこと限りなしである。

¹⁵ 新聞や TV 等のマスコミに取り上げられることも多くなり、最近ではゲームをしない人にも「艦これ」の存在が知られるようになってきた。

当初、「艦娘」のかわいいというのが一番だろうと漠然と感じていたのだが、それだけでなく、ゲームのシステムそのものへの理解もあって、『艦これ』に魅力を感じているのがわかったことが、このインタビューでの大きな収穫であった。考えようによっては、「艦娘」を育てることに手間のかかることや、「轟沈」してしまうことは、非常に面倒な要素とも思われるが、それも含めてゲームの魅力と感じているのなら、単なる見た目から引かれたという表面的な楽しみの域を超えているといえる。

そうすると、「女子提督」たちは、『艦これ』というゲームの本質的なところをわかっている、ゲームをプレイしていることになる。世上、女性が男性の趣味の分野に進出して来るのを興味本位で見ている者もいるようだが、そういう見方は非常に偏ったものといえるだろう。逆に言えば、無意識であったにしろ、表面的なかわいさという魅力以上のものを感じたからこそ、このゲームを飽きずに、やり続けているということになるのであろう。

5 『艦これ』へのこだわり

この章では、各「女子提督」がそれぞれどのような自分なりのこだわりを持っているのかということ、聞いてみた。

司：どのゲームでも各プレイヤーは何らかのこだわりを持ってゲームをプレイしています。皆さんの『艦これ』をプレイする上でのこだわりを紹介してください。

K：「演習」¹⁶では負けたくありません（笑）。また、戦闘で損傷を受けたらすぐに「ドック」¹⁷に入れて直してあげます。「嫁艦」¹⁸（「秘書艦」とも）は潜水艦「伊8」こと「ハッチャン」です。

司：ありがとうございます。ぜひクリスマスには「ハッチャン」とシュトレン¹⁹を食べてください。演習は人それぞれで、勝敗にこだわる人もこだわらない人もいます。「ドック」にすぐ入れるのは「ホワイト鎮守府」²⁰ですね（笑）。少々の損傷だと気にせず出撃させる、鬼畜な「ブラック鎮守府」もよく耳にします。

S：まだあまりやりこんでいませんが、駆逐艦の「時雨」さんを使います。今欲しいのは「春雨」です。私もすぐに「ドック」に入れて修理する派です。

司：私も駆艦艦エースは、「時雨」「夕立」コンビです。改二になって、一段とカッコよくなったと思います。

お二人は、「艦娘」を大事にする「ホワイト鎮守府」の鑑ですね。

M：「蒼龍」が超嫁です（力強く）。家具²¹も全部買います。当然「轟沈」も絶対にさせません。「蒼龍」牧場²²しているのは「絶許」（絶対許しません）です。

司：耳の痛いお話です。私は「蒼龍」「飛龍」「三隈」「まるゆ」等の牧場しています（汗）。優秀な装備品が欲しいからというのが理由ですが、もう育てる航空母艦もないので……（ゴニョゴニョ）

R：私は、特にこだわりはないかなあーと。「改二」が来た「艦娘」を意識して育てることくらいでしょうか。

司：これは、いわゆる実質主義ですね。好みはあるにしても、戦力としての「艦娘」を充実させることで、ある意味合理的なやり方です。

¹⁶ 「艦これ」では、1日に10回、他の提督と「演習」という模擬海戦をすることができる。これに参加することでも「艦娘」はレベルアップすることが可能である。

¹⁷ 戦闘で損傷を受けた「艦娘」は「ドック」に入渠して修理を受けることができる。

¹⁸ 提督にとって「鎮守府」の提督室等で常に身近にいる存在の「艦娘」。いわゆる押しメンパーに相当。「提督」によって、非常に「嫁艦」を重視する派と、そうでない派に分かれる。

¹⁹ 「伊8」はドイツ出身の潜水艦なので、そのセリフにドイツのクリスマス用のお菓子「シュトレン」が出てくる。

²⁰ いわゆる「ホワイト企業」「ブラック企業」のもじり。「艦娘」にやさしい「鎮守府」とこきつかう「鎮守府」である。

²¹ 「鎮守府」の提督の執務室には、ゲーム内のコインを入手し、家具を購入して配置することができる。

²² 「艦娘」を純粹に育てるのではなく、「改造」レベルまで育てて、「装備」を入手する行為をいう。褒められたことではないものの、多くの上級者提督は、優秀な「装備」の入手できる「艦娘」をそのためだけに育てている。育てた後の「艦娘」は「解体」されて「艦娘」ではなくなってしまうこともある。

『艦これ』のファンには、様々なこだわりがあり、必ず「嫁艦」を使う「提督」、駆逐艦等特定の艦種しか育てない「提督」、メガネの「艦娘」を優先して育てる「提督」等、もう多種多様である。その点は、「女子提督」も同じで、こだわり優先派、そうでない派に分かれそうである。

この点は、男性と女性の問題というよりも、プレイヤー個々の好みの問題で、ファン同士でもこのあたりの議論は侃々諤々に盛り上がる場所である。特に「嫁艦」等、特定の「艦娘」へのこだわりのあるかないかは重要で、プレイスタイル自体にも変化を及ぼしている。先にあげた、「鎮守府」のホワイトかブラックかという問題にもつながるものである。

6 イベントについて

ここでは、『艦これ』で年4回、季節ごとに開催される、期間限定のイベント²³について、意見を聞いてみた。

司：11月にも秋のイベントがありました。皆さんのイベントへの意見をお聞かせください。

K：イベントに対しては、特に意見はありません。とにかく、新しい「艦娘」を入手したいですね。今回、練習巡洋艦の「鹿島」²⁴さんは、かわいくてよかったです。

S：イベントはまだ参加できていません。友人がやっているのを見て楽しんでいました。イベント独自の演出が楽しいですね。

司：やはり、イベントの一番の楽しみは、新しい「艦娘」が来てくれることですね。今回の「鹿島」は一気に人気の「艦娘」となりました。また、自分がプレイしなくても、見ているだけでも楽しめるのが「艦これ」の良いところです。自分がやると責任感と緊張感があるのですが、人がプレイするのが見ているのは気楽で楽しいものです。まあ、これは、どのゲームでも同じですが（学生時代の麻雀もそうやったなあ：遠い目）

M：今回は、新しい「艦娘」全てゲットしました（どや顔）。しかし、情報入手する前に出撃して損をしたこともありました。また、前の夏イベントは本当にきつかったです。兄は、いろいろと情報を入手して、アドバイスもしてくれますが、やはり、自分は『艦これ』をしません。他のゲームはかなり強いのですが。

司：全部ゲットしたのは素晴らしいですね。上級者でも全部はゲットできないときはよくあります（今回は駆逐艦「嵐」が入手できなかったなあ：涙）。情報の入手は重要で、私はある程度出てくるまでは、イベントには出撃しません（キリッ）。それにしてもお兄さんはすごい人ですね（『俺妹』²⁵のお兄さんのような：汗）

R：夏のイベントはまだレベル低くて見ただけでした。今回の秋イベントは参加しました。人気の「鹿島」さんが入手できなかったのが残念です。しかし、今まで入手できなかった、駆逐艦「卯月」「谷風」、軽巡洋艦「大淀」、重巡洋艦（改で航空巡洋艦になる）「鈴谷」「熊野」が入手できて、大満足でした。

司：レベルが低くて、「艦娘」が育っていないとイベント制覇は難しいですね。でも、これだけ多数、人気の「艦娘」が手に入ったのは大戦果です。皆さん、それぞれにイベントを楽しんでいて、かなり満足度は高いと見てよさそうです。

²³ 年4回のイベントは「艦これ」における祭のようなもので、いかにイベント海域を攻略するのか、新しい「艦娘」や「装備」をいかに入手するかで、「提督」たちは気合を入れて参加することになる。

²⁴ 2015年の秋イベントでの新しい「艦娘」。大人気となり、「鹿島」をインターネットで画像検索すると大変な「浸食」状態となって、もともとあった「鹿島アントラーズ」や「鹿島神宮」が霞むような状況である。

²⁵ 伏見つかさ作のライトノベル『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』（全12巻・電撃文庫2008～2013）。優秀な兄高坂京介が、オタクでトラブルを起こす妹高坂桐乃を陰で助けている。京介は妹をフォローする兄の代名詞ともなっている。

年4回のイベントは、『艦これ』の「売り」の一つで、ここで入手できる「艦娘」は、人気者になることも多く、今回の「鹿島」はその代表的なものである。ただ、イベントは、楽しい反面、厳しい側面もあり、必要な艦種が揃っていなかったり、出撃に必要な燃料等の資源が不足すると、十分な戦果が挙げられるだけの出撃ができなくなったりで、イベントの全「艦娘」のゲットは簡単なことではない。特に、時間の限界は全ての「提督」にある大問題で、イベントは、資源確保等の事前準備とプレイする時間確保が最大の難関となっている。

「女子提督」の皆さんは学生であるものの、学業やアルバイトもあり、他のゲームもしている者も多く、『艦これ』をプレイできる時間には当然限界がある。そのような中で、それぞれのレベルに応じて、イベントを楽しんでいるようで、この点は、他の一般の提督と全く同じである。

7 他のゲームについて

先にも、大部分の「女子提督」は、他にも様々なゲームをやっていることが多い。『艦これ』以外のゲームについて、どのように楽しんでいるのか、聞いてみた。

司：皆さんは、『艦これ』以外のゲームも楽しんでいると思いますが、具体的にはどのようなものでしょうか。

K：『とうらぶ』は前からやっていましたが、これは簡単すぎるともいえます。一方、それと比較すると『艦これ』はシステムが複雑で、資源や任務の管理も一苦労です。特に女子に萌える趣味はありませんが、『ラブライブ』²⁶はやっています。

S：『とうらぶ』もしますが、私は2次元の女子もかわいい派です。『ラブライブ』は9人ですが、『艦これ』はコンプリートできないほどに「艦娘」が増えていきます。これは本気でやるとなると大変ですね。

司：『とうらぶ』は6人単位で編成する点等、『艦これ』の「艦娘」を男性キャラクターがやっているようなところがあり、非常によく似たシステムのゲームです。『ラブライブ』は映画も人気となり、今年最も盛り上がった作品の一つですね。かわいい女性キャラクターが活躍してそれをプレイヤーがプロデュースする点では、『艦これ』も同じです。この二つのゲームと並行している人が多いのはわかります。

M：ゲームはいろいろやっています（意味深）。幅広くですね（汗）。

司：ここはあまり深く突っ込まないようにしておきましょう（ゴニョゴニョ）。

R：『とうらぶ』はやっていません。親が厳しいので、家でゲームはダメです。妹は3DS²⁷やってるのに（不満）。任天堂系のゲームが好きです。友人のところでやっています。『ラブライブ』はスマートフォンのできるのでやっています。

司：親御さんが厳しいところはそうなりますね。私も経験がありますが、友人宅でゲーム大会をするのは、非常に楽しいですね。皆さんは、『艦これ』以外のゲームも、いろいろされているようですが、やはり似たゲームを楽しんでいるのは、興味深いところです。それぞれ、気分転換になりそうです。

ゲームをどのくらいするかは、各家庭の状況や、兄弟姉妹の存在等が大きく影響しているようである。特に、みつをさんのところは、お兄さんという指南役がいて、かなり上級者の雰囲気があり、レトルトさんは家ではできないので、友人宅やその他で楽しむというやり方である。

『とうらぶ』と『ラブライブ』は、今流行中のゲームでもあり、「女子提督」の多くがプレイしているよう

²⁶ 9人の女子高生が自分達の学校を守るためにアイドル活動をするゲーム。スマートフォンのアプリで楽しめる、ソーシャルゲームで、いつでもどこでも簡単にゲームができるのが売りである。2015年には劇場版のアニメが大ヒットし、主役の9人の女性声優たちがユニット「μ's」で紅白歌合戦にも出場して、社会現象ともなった。詳細は「みんなで叶える物語 ラブライブ」のサイトを参照。

²⁷ 任天堂のポータブルゲーム機。2011年2月26日発売。『動物の森』『ポケットモンスター』『妖怪ウォッチ』『モンスターハンター』等の人気ソフトがある（2016年1月時点）。

である。それぞれのゲームは、育成系のゲームであるという、似ているところはあるものの、やはり、それぞれに売りとなるところが異なっており、並行してすることで、それぞれのゲームに煮詰まった際の気分転換になっているような印象もある。

8 最後に一言

まとめとして、各「女子提督」から、『艦これ』に関して一言ずつ発言してもらった。

司：時間もそろそろ迫ってきました。最後に、一言ずつお願いします。

K：「ハッチャン」と結婚²⁸します（確信）。今 LV95 ですから、LV99 までもう一息です。

S：皆さんの話を聞いてやる気が出てきました。これから頑張ります（キリッ）。

M：超嫁の『蒼龍』LV150²⁹が目標です。幸せになります（遠い目）。

R：改二の「艦娘」を増やしたいです。航空母艦「飛龍」と重巡洋艦「羽黒」と軽巡洋艦「那珂」ちゃん³⁰は、特に早くしたいです。

司：皆さん、それぞれに目標があるようで何よりです（汗）。それでは、長時間、インタビューの会へのご参加ありがとうございました。

「女子提督」もそれぞれ目標を持って『艦これ』をプレイしているのがよくわかる。「嫁艦」のいる人は、その「艦娘」を育てるのに力を入れている。ある意味、一番楽しんでいるのは、初心者から中級者になったばかりのレトルトさんで、「艦娘」が育っていくのと新しい「艦娘」の入手できるのが一番楽しい時期で、ここからイベント制覇できるまでの力がつくあたりが、『艦これ』をしていて最も楽しい時期といえる。初心者のシオンさんにもぜひとも『艦これ』の世界を楽しんでもらいたい。

9 おわりに

今回、インタビューの形式で、4人の「女子提督」から、『艦これ』をどのように楽しんでいるのか、という点に絞って取材を試みた。その結果、主に次の4点が明らかになったと考える。

1 点目は、女性が『艦これ』というゲームに非常に自然に参加して、プレイするようになっていることである。特に、男性向けの要素の強いものであることや、ミリタリーの要素があることなどは、あまり意識せずに、自分にとって興味が持てるものであるから、プレイしているということである。

ここの「女子提督」たちは、『艦これ』の情報を得てから、インターネット上や友人のプレイの様子を見て、ゲーム参加の登録をして、プレイするという流れである。そうすると、とにかく自分にとって楽しめそうであることが、決め手になっているということになる。

2 点目は、それにもつながるものであるが、基本的に『艦これ』をする女性は他のゲームもしていることが多いことである。高校生以上になると、男女ともに、日常的にゲームをする層としない層とに分かれてくる。

『艦これ』は、日常的なルーティンな要素の強いゲームだけに、ゲームをすること自体に、馴れのある者がプレイしていることになり、そういう者は、必然的に他のゲームも並行して楽しんでいるということがで

²⁸ 「艦これ」のシステムの一つ。「艦娘」を LV99 まで育てると「ケッコン・カッコカリ」が可能となり、提督と特別な関係のある存在になるとされる。「燃費」等も向上し、艦隊運用上のメリットも大きい。一人の「艦娘」としか「結婚」しない提督がいる一方で、何人もの「艦娘」と「重婚」？する提督もいる。ちなみに、稿者は、「ケッコン・カッコカリ」は姉妹の「艦娘」同士がするものであり、提督はそれをフォローする執事のようなものと解釈している。具体的には、「大井」「北上」の雷巡姉妹、「大和」「武蔵」の大艦巨砲姉妹、「赤城」「加賀」の正規空母姉妹等である。

²⁹ 「艦娘」の育てられる最高のレベル。現在（2016年1月時点）では LV155 に上がっている。

³⁰ ゲーム開始時からの艦隊のアイドル。彼女は「ちゃん」が基本。他に、「加賀さん」等「さん」づけの「艦娘」もいる。

きる。ゲームが生活の一部となっているような層が、主要なゲームへの参加者と考えられる。

3 点目は、擬人化した女性キャラクターである「艦娘」をかわいいと感じていることである。これこそが女性ファンがゲームを熱心にプレイするかどうかの重要なポイントと考えられる。かわいがりたい、惹かれる、という要素が特になければ、少しプレイしても、止めてしまうということにもなる。

男性ファンの場合も、「艦むす」がかわいいという者は多いが、女性ファンのそれとは違いがあるように感じられる。これが、具体的にどのような違いなのかは、女性の感じる様々なかわいさについての議論はあるものの、不明な点も多い³¹。今後の課題としたい。

4 点目は、「艦むす」がかわいいことがゲームをプレイする大きな動機であるにしろ、「女子提督」たちは『艦これ』というゲームの本筋の楽しさを味わっていることである。『艦隊コレクション』の名称の通り、このゲームは、「艦娘」を集め、かつ、育てて、自分の艦隊を作ることがゲームの眼目の一つとなっている。

その点からすると、「女子提督」は、まさにそれに即した楽しみ方をしているといえる。ゲームのシステムを理解した上で、自分の集めた「艦娘」を戦闘海域に出撃させて育てていくことをゲーム遂行上の目的としている。それ故に、女性だからという色眼鏡で女子提督を見るのは大きな誤りである。基本的には、男性の提督と同様にゲームを十二分に堪能しているのである。

しかし、にもかかわらず、女性らしい楽しみ方、「女子提督」ならではの醍醐味もあるのではなかろうか。しかし、この点については、今回の短いインタビューでは、男性以上に「かわいさ」がキーワードになりそうという点以上には、明らかにすることはできなかった。

そして、この問題は、従来男性が愛好している趣味の分野に女性が進出してきた際に、常に問題となる点であったと思われる。鉄道しかり、自転車しかり、カメラしかり、サバイバルゲームしかり、である。今後、この女性ならではの楽しみ方という問題は、各分野において、さらに深く、具体的に考えていく必要がある、ということで、この稿を終えることとする。

【参考文献】

- 後藤将之編 (2014) 『アプリ超攻略大事典 vol.2 艦隊これくしょん超攻略』 (株式会社三オブックス)
- コンプティーク編 (2013) 『コンプティーク 2013 年 10 月号付録 艦これ 提督が鎮守府に着任しました』 (『コンプティーク』 33-10 通巻 425 号 株式会社 KADOKAWA)
- コンプティーク編 (2014) 「女性提督たちの「艦これ」」 (『コンプティーク』 32-4 通巻 431 号 株式会社 KADOKAWA)
- 坂本武郎編 (2014) 『エンターブレインムック 艦隊これくしょん—艦これ—提督@報告書』 (株式会社 KADOKAWA)
- 坂本武郎編 (2015) 『エンターブレインムック 艦隊これくしょん—艦これ—提督@報告書 作戦手引書』 (株式会社 KADOKAWA)
- 澤田大編編 (2014) 『アプリ完全攻略ガイド vol.2 艦これ』 (株式会社インターナショナルラグジュアリー・メディア)
- トウラブ研究会編 (2015) 『アプリ完全攻略 vol.1 総力特集 とうらぶ』 (スタンダード株式会社)
- 三谷光編 (2015) 『艦隊これくしょん—艦これ—アンソロジーコミック 女子だって艦これが好き!』 (株式会社 KADOKAWA・ファミ通クリアコミックス)
- 四方田犬彦 (2006) 『「かわいい」論』 (ちくま書房)

³¹ 代表的なものに、四方田犬彦 (2006) がある。

【参考サイト】(いずれのサイトも 2016 年 1 月 15 日最終確認)

DMM.com 『艦隊これくしょん—艦これ—』 <http://www.dmm.com/netgame/feature/kancolle.html>

DMM.com 『刀剣乱舞 ONLINE』 <http://www.dmm.com/netgame/feature/tohken.html>

アニメ 『艦隊これくしょん—艦これ—』 <http://kancolle-anime.jp/>

『ニコニコ大百科』の「ヒラコーショック」の記事

<http://dic.nicovideo.jp/a/%E3%83%92%E3%83%A9%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%83%E3%82%AF>

『みんなで叶える物語 ラブライブ』 <http://www.lovelive-anime.jp/>